

事業概要

コンソーシアム名：介護事業IT連携生産性向上コンソーシアム

事業概要：介護事業においてスタッフ勤怠、スタッフ配置管理、利用者管理、送迎ルート/スケジュール/利用者服薬といったスタッフ情報と顧客情報の連携管理し生産性向上の実現を図る。

【取組地域】

・北海道札幌市・小樽

【対象業種】

・介護、事業

【対象業務】

・利用者管理業務等

コンソーシアム構成員

幹事者：株式会社ルーメン
ユーザ企業：

ITベンダー等：
株式会社青空工場

現状の業務課題

スタッフの勤怠システムと利用者管理など複数のシステムを使用する必要があるが、各システムに重複したデータの入力が必要、連携もされていないので各システムの情報の相違を目視かエクセル等で更に管理しなければいけないので、運用のコストが高くまたヒューマンエラーが発生する

連携させるITツール

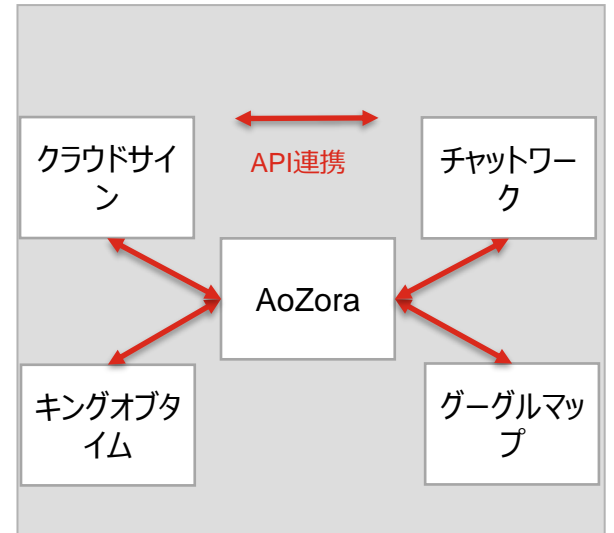
AoZora、キングオブタイム、チャットワーク、クラウドサイン、グーグルマップ

主な取組内容

AoZoraを根幹とし勤怠管理をキングオブタイムの勤怠機能、チャット&データ更新情報等の情報をチャットワークのチャット機能、書類の捺印をクラウドサインの電子印鑑機能、利用者様の送迎ルートをグーグルマップのルート機能をAPIで連結し各システムの機能をAPIで連携し、一つのシステムから操作運用できるようにし従業員の事務業務コストを大幅に下げる事に成功したこの事により利用者様に手厚い介護サービスを提供出来るようになった、また不要な従業員同士の対面作業がなくなりコロナ対策にも一役かった。
今後は実務で更に運用しブラッシュアップしより汎用性の高いシステムにし波及効果創出していく

実務を行なっている現場の声をより吸い上げ
実業務に専念できるようにUI/UXの改善を図りよりスマートな業務フローの実現を行う

ITリテラシーが低い業界であるが、ベンダー、ITコーディネータと難解なIT独自のカタカナ言葉を使わず使用者たちの意見を聞き出しシステムで出来る事を使用者達へ説明し使用者目線での導入/開発を行なったシステムの表記もAPIで連携し統一し利用しやすくすることで使用者がツールを利用する際のストレスをなくしツールを積極的に利用できるようにした。
個々に行われていたアナログ媒体でのやりとりがなくなりシステムを通しての業務になり業務フローが統一することが出来た



次年度以降の展望

今回の事業で、システムを連携し一気通貫で管理運用を行うことで業務コストを下げる事ができた、現場の声を参考により現場に寄り添ったUI/UXの改善を行いより効率よく作業者の入力管理等の負担を下げ、取引のある他会社にも弊社の取り組み効果を元にパンフレット・WEBサイトの開設を行い他企業にも普及・展開を行う

定量的な成果目標

①労働生産性（事業終了後）

1年後：2439、2年後：2532、3年後2626

②スタッフ管理の処理時間の削減率・向上率（事業終了後）

1年後：を2時間低減する、2年後：前年度比10%低減する、3年後前年度比10%低減する

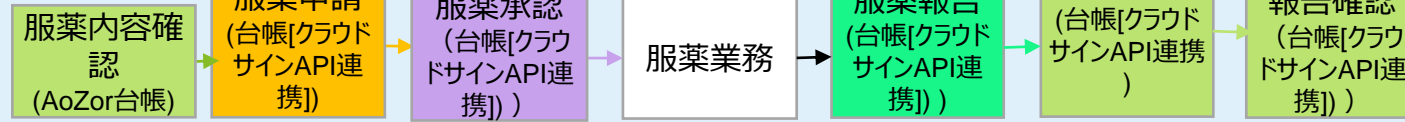
ITツールの連携による生産性向上の取組（アフター）

業務流れ

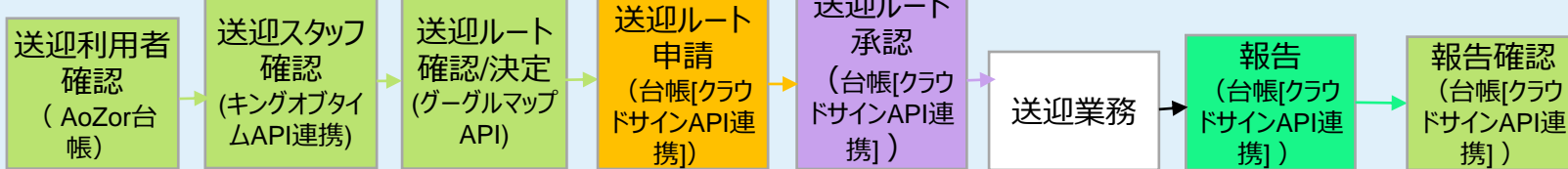


AoZora

服薬業務



送迎業務

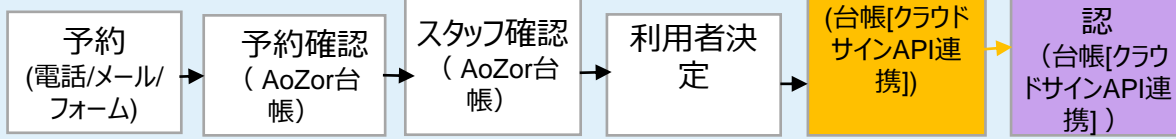


AoZoraを根幹に全ての他のツールはAPIで連携



ITツールのカバー範囲

利用者管理業務



【解決策】

AoZoraを根幹に各APIを連携スタッフは業務毎にツールを切り替える事なく紙媒体の利用を無くし、今までの報告とこの実対面作業も自動でツールから行う。

【効果】

AoZoraを根幹に各APIを連携/スタッフはAoZoraを使用する事により一気通貫に各データのアクセスが可能になり確認、入力、承認の業務負担を大幅に軽減すると共に各データ連携ができていますのでヒューマンエラーも防ぐことが可能。データは一元管理されるので重複しての入力が不要になりヒューマンエラーの解決。

今まで紙媒体に捺印していた業務もデジタル印鑑を利用しペーパーレスと不要な実対面業務の削除をし業務改善とコロナ対策が行える。スタッフ、管理者の生産性は大幅に向上20%以上は向上する見込み。

